

# ゆずむすめ新聞

平成二十五年 四月発行

## 桜の季節は

### 来たけれど

色とりどりのチューリップが春風に揺れています。そしてお花見シーズン到来のはずが・・・満開の桜を期待してきた人にはちよつと肩すかしをくらったような、今年の佐田の桜の風景です。ぽつんぽつんとまだらに花が咲いた桜並木が続いています。全国的にもソメイヨシノの異変はあちこちにあるようです。鳥に蕾を食べられたとか、異常気象のせいだとか言われています。桜の少ない春は淋しいかぎりです。

それでも三月最後の日曜日には、家族連れのお花見客が何組か花の下でお弁当を食べていました。

来年は満開の桜を期待しましょう。



この桜がいちばんきれいでした

### 【発行所】

農事組合法人  
古座川ゆず平井の里  
和歌山県東牟婁郡  
古座川町平井469  
Tel.0735-77-0123

## 「お花見ランチはいかが」

三月三十・三十一日、ゆずの学校で平井のボランティアグループの女性達が「お花見ランチ」のご馳走をして下さるといふので、ちよつとよばれに行つて来ました。調度、お隣の西川地区から来られた四名の奥様達となりに座つて「美味しい、美味しい」と感嘆の声をあげていました。

「ごんぱち(イタドリ)、うど、三つ葉等地元で採れる山菜を使った春らしい、彩りもきれいなお弁当」にサンマ寿司、五目ご飯が付いて、ボリュウムも満点、味付けも上品で、満足、満足。

グループの会員約十名で、三日前からサンマの塩をして、骨を取つて、サンマ寿司、八十本、五目寿司約六十食、そしてお花見ランチ四十食を準備、「お客様に美味しいと喜んでもらうのが何より嬉しい！」というグループの皆さんも笑顔いっぱいです。これからも地元のお年寄り達に喜んでもらえる活動を続けて下さい。

応援してまいります。



## 「パン作りも楽しい」

三月二十日 三年間パン屋さんで修行したという井沼のぶこさんがパン作り体験の準備で実際にベーグルパンを作りに来てくれました。私も少しお手伝いしました。

よもぎや柚子ジャム、チョコを練り込んだり、身近な材料で美味しいベーグルパンが出来て感激！。生地を練つてから発酵、成型と結構時間はかかったものの、井沼さんが優しく手ほどきしてくれて、楽しい経験が出来ました。

(小枝子)



## 平井の里ニュース

## サルに負けるものか

三月十七日 久しぶりに柚子園に足を踏み入れた。谷川のせせらぎの音、小鳥のさえずり、小さな草花達も私を迎えてくれる。

ここが私の柚子園。徒長枝(真上に伸びた枝)の剪定をしていたら、突然向かい側の林の中で群れのサル達がワーワーキャッキヤと騒ぎ出した。女一人と侮られてはたまらなかったので、おっさん声で「うるさい！」と怒鳴つてやったら、ちよつと静かになった。

肥料もやらなあかんし、草も刈らんとあかんし大変やけど、やっぱ自然のなかはええわ、心が洗われるわ、ほんまに・・・。

(柚子おばさん)

## よもぎ餅

三月三十日 桜の季節になると、恒例のよもぎもちと柚子餅を作ります。あんこを炊くのは啓太君です、長時間炊くので結構労力を使います。もうすっかり美味しいあんこ作りの名人です。早朝五時出勤で餅を握つて、地元の人の注文の他に、利枝ちゃんと香奈ちゃんやゆず号に乗って佐田の桜のところへ売りに行きました。平井の餅は大きくて美味しいと人気も上々です。瞬間に売れました。

## 新しい「ゆず号」お披露目!

ついに新車のゆず号が登場です!。サイドに袖香ちゃんの絵があつて、どこに行つても注目されるそうです。

その車に颯爽と乗って配達に回るのが製造部でも活躍している香奈絵ちゃんです。よろしくお願ひします。



## 【あとがき】

今年も三月十一日が過ぎました。新聞の一面に、津波が襲つてきた海に向かつて、みんなで手をつないで犠牲者の冥福と復興を祈る人々の写真が載っていました。あの日から二年、季節は巡つて来たけれど、あまりにも重すぎた犠牲、未だ時計の針が止まったような進まない復興、故郷に帰れない人達がいることを忘れてはいけないと思ひました。(小枝子)